

[解答例]

英語〔A方式(11/21)〕

英語〔B方式(11/21)〕

設問		解答例	
①	I	①	1
		②	2
		③	3
		④	1
		⑤	1
		⑥	1
		⑦	3
		⑧	4
		⑨	4
		⑩	1
	II	⑪	2
		⑫	3
		⑬	2
		⑭	2
		⑮	1
	III	⑯	4
		⑰	8
		⑱	6
		⑲	8
		⑳	3
		㉑	4
		㉒	7
		㉓	1
		㉔	3
		㉕	2
②	I	①	2
		②	2
		③	4
		④	1
		⑤	3
		⑥	4
		⑦	3
		⑧	4
		⑨	2
		⑩	4
	II	⑪	4
		⑫	1
		⑬	2
		⑭	2
		⑮	4
	III	⑯	2
		⑰	5
		⑱	7
		⑲	4
		⑳	8
		㉑	2
		㉒	8
		㉓	4
		㉔	8
		㉕	5

設問		解答例	
①	I	①	2
		②	3
		③	4
		④	3
		⑤	2
		⑥	2
		⑦	2
		⑧	2
		⑨	2
		⑩	3
	II	⑪	4
		⑫	1
		⑬	4
		⑭	4
		⑮	4
	III	⑯	5
		⑰	4
		⑱	5
		⑲	1
		⑳	7
		㉑	8
		㉒	4
		㉓	3
		㉔	3
		㉕	7
②	I	①	4
		②	2
		③	4
		④	1
		⑤	2
		⑥	2
		⑦	4
		⑧	3
		⑨	2
		⑩	1
	II	⑪	1
		⑫	2
		⑬	1
		⑭	1
		⑮	1
	III	⑯	3
		⑰	1
		⑱	8
		⑲	7
		⑳	8
		㉑	2
		㉒	6
		㉓	8
		㉔	2
		㉕	7

【解説】 英語〔A方式〕

英語①

I

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「冷却技術の歴史」。

(1)・(2)・(3)・(6)は、文脈を把握して空所を補う問題。(1)本文は氷室内の氷の使い方について説明している、「これらの氷室の氷は肉やチーズなどの腐りやすい食べ物を保管するために使われた」と述べられていると考える。perishableで「腐りやすい」の意。(2)家庭用冷蔵庫のために「商業的な水の供給業者から氷の塊を購入していた」と考える。commercialで「商業の」の意。(3)文脈から、機械が暑い気候をコントロールするのは罪深いと考えられ、1900年代初頭になっても人工的な空調の使用が避けられていたとわかる。even～は「～でさえ」の意。(6)文脈から、アメリカは日本よりも推奨される設定温度が低いことがわかるので、「アメリカを訪れる人たちが夏の部屋は寒すぎると不満を言うことは珍しくない」と述べられていると考える。

(4)・(5)は下線部の語句の意味を問う問題。(4)は下線部の指すものを正しく把握する必要がある。

(7)は内容一致問題が2問と、問題文のタイトルをつける問題。与えられた部分を読むと、1、2はリード文に続く内容が問われているため、リード文と選択肢を合わせて読み込む必要がある。タイトルは、その文章全体のテーマを示すものを選ぶ必要がある。

(8)は本文の内容と一致しない選択肢を選ぶ問題。年代などの数字や人名に注意して読み解く。

II

標準レベルの文法・語法・熟語が問われている。

- (9) click on～で「(マウスで)～をクリックする」の意。
- (10) be off to～で「～へ出かける」の意。
- (11) can't seem to～で「～することができないようだ」の意。
- (12) be biased against～で「～に対して偏見を持つ」の意。
- (13) 条件を表す副詞節では未来のことであり現在形で表す。unlessで「～でない限り」の意。

III

正しい語順は次の通り。

- (14) The result was not as (good as I thought it was going to) be.
- (15) I really (must express my admiration for your attitude regarding) this matter.
- (16) We were wondering if (you could tell us why the concert was) cancelled.
- (17) Who was (it that talked Susan into changing her mind)?
- (18) I (ended up having to settle for second prize).

英語〔B方式〕

英語①

I

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「気候が人間の生活に与える影響について」。

(1)・(3)・(4)は、文脈を把握して空所を補う問題。(1)空所を含む文の前までには、人間にとって快適な温度と湿度の範囲は非常に狭いということが述べられている。そこに逆接を表す however が続くことから、「状況はしばしば快適な範囲の外になる」という内容になると考える。(3)irrigateで「～に水を引く」の意。(4)空所以下からカンマまでは「北半球と南半球は1年の違う時期に冬がある」、カンマ以下は「インフルエンザの季節は世界的に年2回ある」という内容。空所に続く節が主節の内容の理由になっているとわかる。sinceは接続詞で「～だから」の意。

(2)は下線部の語句の説明としてふさわしい選択肢を選ぶ問題。buddingは「新進の」という意味で、a budding Polar explorerで

英語②

I

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「自転車の発明と普及」。

(1)・(2)・(5)・(6)は、文脈を把握して空所を補う問題。(1)先行詞が a point の関係副詞の文。空所のあとが完全な文であることから判断する。(2)空所の前後では自転車の扱いについて反対の内容が述べられているので、対比の意味を表す語句を入れる。by contrastで「対照的に」の意。(5)人々が裕福になるにつれて、自転車が古風な移動手段とみなされ、車を所有することが何の象徴になったのかを考える。modernityは「現代性」、prosperityは「繁栄」の意。(6)最初に導入されてから何年後に自転車が人気の交通手段になったのかを答える。自転車の起源は19世紀初頭。

(3)・(4)は下線部の語句の意味を問う問題。(3)は類義語、(4)は多義語の知識が問われている。

(7)は内容一致問題が2問。1はリード文に続く内容が問われているため、リード文と選択肢を合わせて読み込む必要がある。

(8)は本文の内容と一致しない選択肢を選ぶ問題が2問。リード文と選択肢のキーワードが該当する部分を探し、一致するかどうかを判断する。

II

標準レベルの文法・語法・熟語が問われている。

- (9) work out～で「～を理解する」の意。目的語が代名詞の場合、work～outの語順にする。
- (10) catch upはここでは自動詞で「追いつく」、「会って近況などを聞く」の意なので、あとに目的語を置かない。
- (11) move into～で「～に引っ越す」の意。
- (12) 〈How come + S + V～?〉で「どうして」と理由をたずねる文になる。
- (13) let～in for...で「～を…に巻き込む」の意。

III

正しい語順は次の通り。

- (14) You shouldn't (let your coworker take advantage of you like) that.
- (15) I'm (wondering what will become of me if I'm) chosen to be the chairperson.
- (16) I (dare say you will succeed in passing the) exam in the end.
- (17) Why do you expect me (to trust you when even my friends have) betrayed me?
- (18) I'd (hate for you to think that I didn't) care about the test.

「新米極地探検家」となる。また、意味を知らなくても、前文で「洋服ダンスはどこで休暇を取るのが好きかについてのヒントを与える」と述べられ、下線部以下に「北極用の服が掛けてあるだろう」とあることから、if節は休暇を北極で過ごすとしていることを仮定しているのだとわかる。

(5)は下線部の意味を問う問題。類義語の知識が問われている。

(6)は内容一致問題が5問。問題文で、選択肢のキーワード(特に名詞)が該当する部分を探し、一致するかどうかを判断する。

II

標準レベルの文法・語法・熟語が問われている。

- (7) there is no pointで「無駄である」の意。
- (8) come acrossで「印象を与える」の意。
- (9) 理由を表す分詞構文。分詞構文内と主節の時制は同じで、空所のあとは目的語になるので現在分詞にする。

- (10) on the verge of ~で「今にも~しそうで」の意。
 (11) might have knownで「案の定~だ、~なのは驚くことではない」の意。名詞節が続くので受動態の②、③は不適。might as well doは「~したほうがいい」で文意が通らない。

III

正しい語順は次の通り。

- (12) Why (is it that you didn't tell the truth)?
 (13) I think he (is the only person who could have done) the work.
 (14) I (keep hoping that someone special will come into) my life soon.
 (15) These days, (secure jobs in IT are highly sought after).
 (16) There (is nothing I like better than chatting with) friends.

英語②

I

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「親切が持つ力」。
 (1)・(2)・(5)・(7)・(8)は、文脈を把握して空所を補う問題。(1)あとに for を続けられるのは desire「願望」のみ。bred は breed の過去分詞で、bred in our bones「骨の中で育てられた」=「生まれつき染みついた」の意。前段落の We are hard-wired to be kind.と同じことを表している。anger, lust, grief, desire と感情を並べ、「他の感情と同様に、親切は生まれつき備わっている」ということを述べている文。(2)under the right circumstances「適切な条件下で、条件が揃えば」の意。「条件次第で全員が利益を得られるので、親切にする」ということ。(5)空所には social programs の具体的な例が入る。(7)道徳心を失った場合、どのようなことへのきっかけになるのか考える。crueltyは「残虐性」の意。(8)put ~ to the testで「~を試す」の意。

(3)・(4)・(6)は下線部の語句の意味や表す内容を問う問題。(6)は下線部前後の文脈を理解しているかが問われている。

(9)は内容一致問題が2問。問題文で、選択肢のキーワード(特に名詞)が該当する部分を探し、一致するかどうかを判断する。

II

標準レベルの文法・語法・熟語が問われている。

- (10) might as well doで「~したほうがいい」、drop inで「訪ねる」の意。
 (11) come up with ~で「~を思いつく」の意。
 (12) be supposed to doは否定文で「~してはいけない」の意。禁止を表す。
 (13) 分詞構文。take ~ by surpriseで「~の不意をつく、~を驚かす」の意。文脈から「不意をつかれて」と受け身の意味にするので、過去分詞を使う。
 (14) no ~ useで「~を使用しないこと」の意。②、④の using は動名詞で、目的語を直後に置く必要がある。③の use は名詞で、①のような形にするか、use of ~とする必要がある。

III

正しい語順は次の通り。

- (15) I (was wondering if you have any tickets left).
 (16) Anyone entering (this area without prior approval will be considered) to be trespassing.
 (17) You can (never overemphasize the importance of being earnest and) sincere.
 (18) I would never have won the speech contest, (had it not been for your tireless assistance).
 (19) He (always makes an extra effort to welcome new) students to the school.